

2025 年度 グローバルラーニングセンター FD 活動方針・活動計画

グローバルラーニングセンターでは、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

1. 日本語コース開発に関する FD 活動

【目的】

- ・「日本語入門」の現状を分析し、2025 年度後期からの入門レベルの正課外科目増設に向けたコース開発を行う。
- ・2025 年度の日本語コースの内容及び教育方法の実施状況と選択化したことによる履修状況を分析し、2026 年度からのレベル別日本語コース開始に向けたコース開発を行う。

【実施内容】

- ・4 月：計画立案
目的の共有と実施方法の検討
- ・5 月～8 月：現状の分析（2025 年度前期日本語科目実施状況および履修状況）
入門レベルのコース開発（正課外科目）
レベル別日本語コース開発（2026 年度改編に向けた準備）
勉強会の実施（上記コース開発に関わるテーマ）
- ・9 月～12 月：現状の分析（2025 年度後期日本語科目実施状況および履修状況）
入門レベルのコース試行（状況に応じて適宜改善を行う）
レベル別日本語コース開発
勉強会の実施
- ・1 月～：分析結果をまとめ、シラバス・ルーブリックに反映

2. 語学授業 105 分対応に関する FD 活動

【目的】

- ・105 分に移行して、実施状況を把握し、さらなる改善が図れるような提案を行い、2026 年度の改善につなげてもらう。
- ・学生の学習意欲を向上させ、学生の学びを促す授業になるように、授業計画を再検討する。

【実施内容】

- ・4～5 月：105 分授業の検証方法の検討
GLC 教員対象に 105 分授業実施状況を把握するための質問項目を設定し、質問紙を完成する。
- ・6 月～7 月：アンケート実施（成功事例・課題収集）

- 1.で作成した質問紙を用いてアンケート調査を実施し、成功事例・課題を収集する。
- ・9月～12月：アンケート結果分析・共有準備
- 2.で収集した結果をまとめ、分析を行う。課題に関しては解決策の案を作成する。
- ・翌年1月～2月：成功事例・課題の共有・解決策の提案
- GLC 会議で成功事例・課題を共有する。また、解決策の提案を行う。

3. 学習成果の可視化（国際共修 Can-Do に関する FD 活動）

【目的】

- ・2024 年度で得た「多様性を知る」「共修する」「内省する」という能力に関する Can-Do リストに基づいて、より具体的な授業コンテンツを考える。
- ・「多様性を知る」「共修する」という能力をどのように可視化できるか検討する。

【実施内容】

- ・5月：Can-Do リストの確認（5月）
2024 年度、分野・レベルごとの Can-Do リストを作成した。そのリストを再共有した上で、2025 年度の FD の進め方を確認する。
- ・7月：Can-Do の具体的授業コンテンツ検討 1
「多様性を知る」という能力に関する Can-Do にもとづいた授業コンテンツを検討する。
- ・9月：Can-Do の具体的授業コンテンツ検討 2
「共修する」という能力に関する Can-Do にもとづいた授業コンテンツを検討する。
- ・10月：Can-Do の可視化の検討 3
「多様性を知る」「共修する」という能力をどのように可視化できるかを検討する。

以上